



同志社ハリスフォーラム 2015

「生物多様性を植物、動物、菌類の多様性から考える」

日時:2015年9月26日(土) 13:00~16:25 会場:同志社大学京田辺校地 恵道館201教室

「地球上の生物多様性の維持や保全」の重要性が、1992年のリオデジャネイロでの生物多様性条約において認められ、我が国においても、名古屋での第10回生物多様性の会議が開催されるなど生物多様性の研究が進んできています。そうした動向に対して、日本の生態学者は、「地球共生系」の考え方を提案し、生物多様性研究の重要性を指摘してきました。現在、日本においても生態学者の研究課題であった生物多様性の問題は、広く生物科学の共通課題として認識されてきており、遺伝子、個体、個体群、群集レベルから生物多様性の維持機構の研究が活発に成されてきています。将来への生物多様性資源を維持していくことは重要な課題となっています。今回のフォーラムの目的は、新しい科学分野である生物多様性研究の現状を紹介し、その考え方を学生や専門家に啓蒙普及することです。フォーラムの講演では、同志社大学における生物多様性研究の取り組みに加えて、動物、植物、菌類の多様性研究を活発に展開されている講演者により、各分野での研究の現状を紹介していただきます。専門家のみならず、学生や一般の方々の多数の参加をお待ちしています。

開会の挨拶 (13:00~13:05)	同志社ハリスフォーラム実行委員長	武田博清
「種・遺伝レベルからみた動物多様性」 (13:05~13:50)	京都大学	松井正文
「菌類(きのこ・かび・酵母)の多様性はどこまでわかったか」 (13:50~14:35)	京都大学	大園享司
「休憩」 (14:35~14:50)		
「遺伝解析による植物の多様性保全」 (14:50~15:35)	京都大学	井鷲裕司
「生物多様性保全のためのコモンズ構築」 (15:35~16:20)	同志社大学	光田重幸
閉会の挨拶 (16:20~16:25)	同志社大学理工学部長	林田明

*プログラム終了後に懇親会を開催いたします。時間:16:40~18:00

場所:同志社大学京田辺校地「紫苑館2F 教職員食堂」(TEL:0774-65-8260) 会費(一般参加者)1,500円 当日徴収

参加 申込

参加費は無料ですが、参加を希望される方は9月10日(木)までに申込書をFAXでお送りください。

E-mailでも受け付けいたします。申込受付受領書は発行いたしません。

〒610-0321 京田辺市多々羅都谷1-3 同志社大学理工学部研究室事務室 ハリスフォーラム事務局

TEL:0774-65-6211 FAX:0774-65-6801 E-mail:jt-koukn@mail.doshisha.ac.jp

主催:同志社大学、同志社大学理工学部

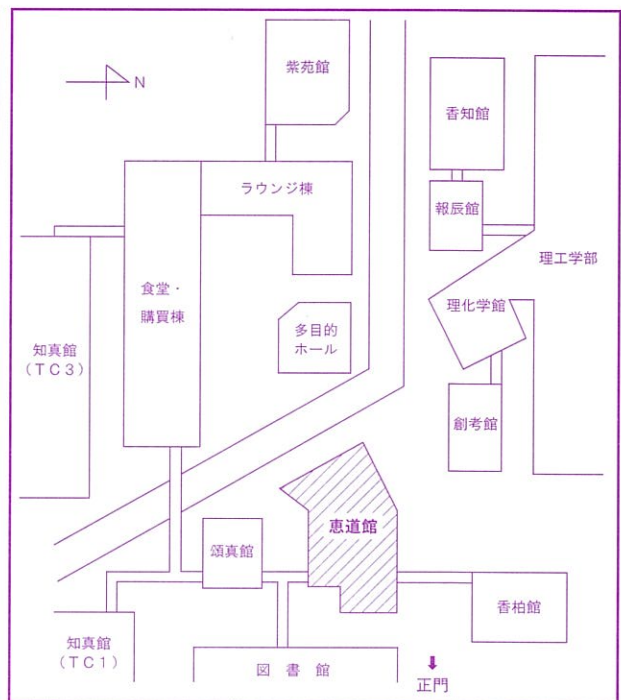
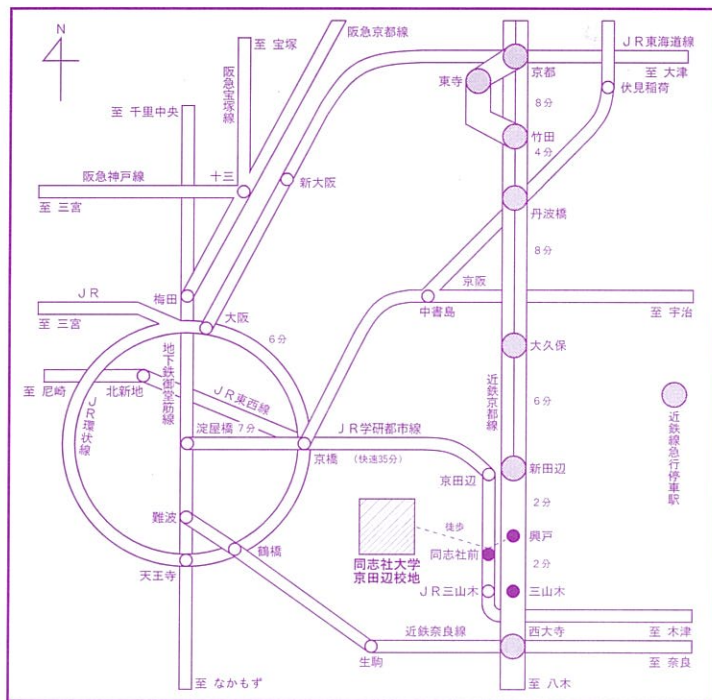
共催:同志社大学ハリス理化学研究所、同志社大学リエゾンオフィス、同志社理工会

後援:京都市リサーチパーク(株)、(公社)京都工業会、(公財)関西文化学術研究都市推進機構、日本経済新聞社大阪本社、京都新聞、京田辺市

ホームページ:同志社大学>理工学部【What's NEW】に掲載しています。

「同志社大学京田辺校地への交通のご案内」

駐車場の用意はございませんので、お車でのご来学はご遠慮ください。



- 近鉄電車「興戸」駅から徒歩20分、「新田辺」駅からバス・タクシーで10分、「三山木」駅からバスで7分
 - J R学研都市線「同志社前」駅から徒歩15分
- 詳しくは同志社大学のホームページをご覧ください。 <http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/kyotanabe.html>

【講師略歴】

松井 正文(まつい まさふみ)

京都大学名誉教授。1972年信州大学繊維学部繊維農学科卒。1975年京都大学大学院理学研究科博士課程動物学専攻中退。京都大学教養部助手を経て、1998～2015年同大学人間・環境学研究所教授。理学博士。両生類の系統分類の研究に従事。前日本爬虫両棲類学会長、前日本動物分類学会長、元日本分類学会連合代表。現在、日本動物学会編集顧問、環境省国内希少野生動物種指定検討委員会委員、国交省淀川環境研究会委員、滋賀県環境審議会委員等を務める。

大園 享司(おおその たかし)

京大生態学研究センター准教授。2001年京都大学大学院農学研究科助手。2003年博士(農学)京都大学。2007年日本生態学会宮地賞。2008年より現職。2009年第51次日本南極地域観測隊観測部門隊員。2012年から総合地球環境学研究所共同研究員。専門は生態学、生物多様性科学。熱帯から極域までをフィールドに土壌分解系の機能、菌類の多様性などを研究。主な著書に『菌類の生物学』(京都大学学術出版会)、『微生物の生態学』(共立出版、編著)、『カナディアンロッキー・山岳生態学のすすめ』(京都大学学術出版会)など。2015年から日本菌学会理事を務める。

井鷲 裕司(いさぎ ゆうじ)

京都大学大学院農学研究科教授。1985年広島大学大学院理学研究科博士課程前期修了、博士(学術)。農林水産省森林総合研究所主任研究員、広島大学大学院総合科学研究科助教授などを経て、2006年より現職。森林の更新過程の解析や、遺伝情報を活用した生物多様性保全にかかわる研究を行っている。応用森林学会会長、日本森林学会常任理事、日本生態学会自然保護専門委員、京都賞基礎科学部門専門委員会委員、日本生態学会賞選考委員、種子生物学片岡奨励賞選考委員、日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員、学術雑誌Population Ecology、Landscape and Ecological Engineering、Ecological Research、Journal of Forest Research、日本生態学会誌などのAssociate Editorを歴任している。

光田 重幸(みつた しげゆき)

同志社大学理工学部環境システム学科准教授。京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了、京都大学理学博士。専門は植物系統分類学、生物保全学。近畿地方の植物を中心とした現状調査に携わるほか、環境省の野生生物調査員、京都府の希少野生生物調査員、淀川環境委員会陸域部会長などを務めている。「京都府レッドデータブック2015」では、植物部門の代表とシダ植物・種子植物を執筆した(種子植物は一部共著)。

同志社ハリスフォーラム2015 参加申込書

FAX(0774-65-6801)またはE-mail(jt-koukn@mail.doshisha.ac.jp)にて、同志社大学理工学部研究室事務室(ハリスフォーラム事務局)までご送付ください。申込受付受領書は発行しません。

参加者氏名			
住 所	〒		
職 業	役 職		
電 話 番 号	F A X 番 号		
参加予定に○をつけてください	ハリスフォーラム	懇 親 会	次回開催案内 要 ・ 不 要